

# 令和6年度 府中市立小柳小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の習得や丁寧さに個人差がある。また、簡単な文章を書くことに慣れていない。</li> <li>・音読練習や読書量に差がある。</li> <li>・話題に沿って、話すことが苦手な児童が多い。</li> <li>・自分で文章を読んだり、話を聞いたりして理解する力が弱い。</li> <li>・語彙力が少なく、自分の気持ちを言葉で表現することが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の手引きを参考に学習のゴールを明確にし、そこに向かって学習計画を立てて見直しをもって臨ませる。【発見】</li> <li>・児童が文字のポイントを押さえながら学習できるように、指導を明確にする。文を書く活動では、声に出して言語化させてから書く活動に移ったり個別指導を行ったりする。【発見】</li> <li>・小グループでの話す活動を多く設定し、話すことに慣れさせる指導を行う。【対話】</li> <li>・読み聞かせや読書時間をこまめに設定したり、発表原稿を活用した発表活動を行ったりする。【表現】</li> <li>・読書通帳や公共図書館のレファレンスサービスを活用した読書活動を活用したり、気持ちを表す言葉を掲示し、それらを使った学習を設けたりする。【決定】</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1位数と1位数との加法や減法の計算が確実にできない。</li> <li>・加法や減法の意味を理解し説明することが難しい。</li> <li>・問題解決に向けて自己の考えや図にすることが難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元学習のゴールを明確にし、そこに向かって一時間ごとの目標や単元学習計画を立てて、見直しをもって臨ませる。【発見】</li> <li>・計算の仕方をブロックや指などを活用し確実に計算できるようにする。【表現】</li> <li>・問題の意味を分かるように教師がモデルを示したり児童の良い解答を見せたり個別指導を行う。【発見】</li> <li>・問題のキーワードとなる言葉を提示したり図にしたりすることをヒントにさせ、問題解決できるように支援していく。【発見】</li> </ul>		
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の中で抱いた疑問や気付き、驚きに対して、「どうしてこのようになるのか」「もっと知りたい」という気持ちが弱い。</li> <li>・気付いたことを表現する際に、どのように表現すればよいのか、表現方法が分からずに戸惑う児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発見や疑問から目標や課題を設けたり、学習計画を立てたりして、見直しをもって臨ませる。【発見】</li> <li>・児童のつばやきを大事にし、より深い観点や違う視点をもつことができるような声かけを教師が心がける。そこから、問題の解決や、気付きを深める学習となるようにする。【発見】</li> <li>・感動や発見を表現している児童の姿を広めるとともに、気付きや学びを表現する機会を意図的に増やす。【対話】</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音や音楽に親しむことに個人差がある。</li> <li>・音や拍の違いを聞き取って、表現する力が弱い。</li> <li>・曲想にあった表現をするために、範唱を聴いて歌ったり、階名で暗唱したりする技能の個人差が大きい。</li> <li>・既習学習を次時の学習に生かそうとしたり、自己の課題に気付いたりして、粘り強く取り組もうとする力が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ゴール（発表や紹介など）の工夫を児童に考えさせ、課題を設定したり、計画を立てたりしながら、ゴールに向かって取り組ませる。【決定】</li> <li>・身体表現を使った音遊びや集団で音楽を楽しむ活動を通して、音楽に親しみをもたせる。【対話】</li> <li>・全体で曲想への思いを共有化し、その上で歌唱させる。また、児童にあった支援を行い、一斉学習時に自信をもって活動できるようにする。【対話】</li> <li>・練習時間や個別指導の充実を図り、児童の実態に合わせた課題設定と学習のゴールを明確にした計画を提示する。【発見】</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道具の使い方を学び、基礎の定着を図っているところである。</li> <li>・創作への意欲や、創意工夫は見られるので、交流や鑑賞を通して児童全体の表現力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発見や疑問から目標や課題を設定するとともに、見直しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>・身近な素材を使った様々な表現技法を学び、それらを組み合わせて、発想豊かに表現を楽しめるようにする。【表現】</li> <li>・互いの良さを伝え合うような鑑賞の時間をもつ。【対話】</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力に個人差がある。</li> <li>・全体的に体を動かすことやゲーム形式の活動に対する経験が乏しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動遊びの中からの発見や気付きを全体で共有化し、学習活動の計画を立て、見直しをもって取り組ませる。【発見】</li> <li>・基礎体力を付けるために、楽しく取り組むことのできる準備運動や、本時の学習活動に合わせた導入活動を工夫する。【発見】</li> <li>・多様な運動の中から精選して、いろいろな運動経験ができるように、指導計画を工夫する。【決定】</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和6年度 府中市立小柳小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）  
第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2 学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 語句の意味を取り違えていて、内容を正確に捉えられていない時がある。</li> <li>・ 「書くこと」において内容をまとまりごとに分けて書き表すための習熟が必要。</li> <li>・ 低学年の段階では、主体的に目標や課題を決め、自分で学習計画を立て、見通しをもって取り組むには多くの支援を要する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 語句の意味を授業の中で確認し、内容が正確に捉えられるように支援する。【発見】</li> <li>・ 教科書に掲載されている作品をまとまりごとに分け、まとまりの意味をつかませる。書く活動では構成メモを使ってまとまりを意識させた上で書かせるようにする。【表現】</li> <li>・ 自身が設定した目標や課題をどのように解決するかを計画する経験を繰り返し行う。【発見】</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題に対してどのように取り組んだらよいか見通しをもてていないことがある。</li> <li>・ 数の構成が不十分で、加減計算がスムーズにできない。</li> <li>・ 単位換算や時刻と時間の理解が不明確である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の発見や疑問から、課題解決のヒントを提示し見通しをもって学習に臨ませる。【発見】</li> <li>・ 授業のはじめの時間を活用し、本単元に関連する前学年の振り返り学習を取り入れ、学習理解を高める。特に、苦手意識のある単元や学習については、e ライブラリアドバンスや東京ベーシックドリルを活用し、反復学習を行って定着を図る。【決定】</li> </ul>		
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習課題を追究してまとめる経験が浅い。</li> <li>・ 課題を追究する手だてやそれらをまとめる力が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の発見や疑問から目標や課題を設定するとともに、見通しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>・ 学習課題に沿った図書資料を提示したり、経験（まち探検やインタビュー、講話）をもとにして学習課題を解決したりできるようにする。【決定】</li> <li>・ まとめ方や書き方の工夫を提示し、児童が参考にしながら活動できるようにする。【表現】</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然で無理のない発声や、楽器の基本的な奏法が定着していない児童がいる。</li> <li>・ 拍にのって演奏したり、合わせて演奏したりすることに課題がある児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽を楽しみながら主体的に見通しをもって、基礎的な技能を積み重ねていくことができるように学習展開を工夫する。【発見】</li> <li>・ 自分の音や相手の音に着目できるように個人、少人数、全体の学習形態を工夫する。互いに聴き合うことを意識できるよう、繰り返し言葉がけをする。【表現】</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手先の巧緻性が低い。</li> <li>・ 事物を模写する力が低い。</li> <li>・ 想像を膨らませて表現する力が乏しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の発見や疑問から目標や課題を設定するとともに、見通しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>・ 手先を使った活動を多く取り入れ、道具の使い方や指先を使った技能を高めさせる。【表現】</li> <li>・ 一つ一つの事物の特徴を全体で捉えさせ、それを模写する際の技法を指導する。【表現】</li> <li>・ 学習課題の完成を想像し、見通しをもって学習活動に臨めるように、参考作品を提示したり、その技法や表現の工夫を丁寧に指導したりする。【発見】</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体力に個人差がある。</li> <li>・ 種目によって意欲に個人差がある</li> <li>・ 低学年の段階では、主体的に目標や課題を決め、自分で学習計画を立て、見通しをもって取り組むには多くの支援を要する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎体力を付けるために準備運動や本時の学習活動に合わせて導入の活動を工夫する。【発見】</li> <li>・ 運動遊びを通して運動の楽しさを実感させ、日常的な運動につなげる。【決定】</li> <li>・ 児童同士の賞賛や助言を通して互いの動機付けや運動機能の向上につなげる。【対話】</li> <li>・ 自身が設定した目標や課題をどのように解決するかを計画する経験を繰り返し行い、見通しをもって学習に臨めるようにする。【発見】</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2 学期末、年度末に評価する。

# 令和6年度 府中市立小柳小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語に苦手意識をもつ児童がおり、意欲的に取り組めない児童がいる。</li> <li>・体験不足・読書量の不足から語彙が少ない。</li> <li>・基礎的な学年相応の漢字を書くことが定着していない。</li> <li>・自分の思いを話したり、書いたりすることが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の疑問から課題(めあて)を設定するとともに、見通しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>・家庭にも協力をお願いし、家庭学習の音読や漢字練習を徹底して行うとともに、「読むこと」において、精読をさせて理解を深めさせる。【発見】</li> <li>・日記や短い作文を書くことを繰り返し行い、自分の体験を書き表したり、考えを書いたりすることに慣れさせる。【表現】</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発見や疑問から学習計画や学習目標を自分で設定し、課題解決に取り組むことは、経験が少なくまだ難しい児童が多い。</li> <li>・基礎基本(足し算、引き算、かけ算)の定着に個人差が大きい。</li> <li>・問題解決に向けて、自分の考えを図や式、言葉など既習内容を用いて表現することが難しい児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発見や疑問から目標や課題を設定するとともに、見通しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>・授業初めに計算問題や用語の確認を行い、基礎基本の定着を図る。【表現】</li> <li>・問題解決に向けて自己の考えを図や式にして表現させたり、他者との対話の中で、自己の考えを広げたり深めたりさせる。【表現】</li> </ul>		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な知識の定着に個人差が大きい。</li> <li>・観察や実験は意欲的に行えるが、観察での気付きや考察したことを具体的に表現できる児童が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発見や疑問から目標や課題を設定するとともに、見通しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>・予想をもとに、調べる方法を他の条件の制御と合わせて発想し、問題解決をさせていく。【決定】</li> <li>・問題解決の過程や学習内容についての考察を、自分の言葉でノートなどに表現させる。【表現】</li> </ul>		
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な知識の定着に個人差が大きい。</li> <li>・学習問題を理解し、学習を通して考えをもち、考えをまとめることが難しい児童が複数いる。</li> <li>・学習した府中市に関する内容を実際の生活場面で想定することが難しい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発見や疑問から目標や課題を設定するとともに、見通しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>・基礎的な知識について繰り返し指導し、定着を図る。【表現】</li> <li>・学習したことをもとに自分の考えをもたせ、提示した語彙をもとにまとめさせたり、発表させたりする。【表現】</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然で無理のない発声や、楽器の基本的な奏法が定着していない児童がいる。</li> <li>・自分の音や相手の音をよく聴いたり、互いに合わせて演奏したりすることに課題がある。</li> <li>・自らの思いや意図を音楽表現に生かすことが十分ではない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スモールステップでの学習展開をしたり、少人数で歌ったり演奏したりするなど、学習形態を工夫し、くり返し学習をしながら、音楽表現の基礎的な技能の定着を図る。【表現】</li> <li>・自分の音や互いの音をよく聴きあうような言葉かけを繰り返し行う。【表現】</li> <li>・児童が聴き取ったことや感じ取ったこと、思いや意図を大切に、楽しみながら学習を進め、主体的に見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。【発見】</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材のテーマから発想を広げにくく、息詰まる児童がいる。</li> <li>・道具をうまく扱うことができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発見や疑問から目標や課題を設定するとともに、見通しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>・活動を始める前に何人か意見を発表してもらい板書でまとめることで、発想のヒントになるような工夫を行い、見通しをもたせる。【発見】</li> <li>・作品作りの活動として使う前に、使い方や使うときの姿勢を復習するようにする。【表現】</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が主体的に目標や課題を決め、見通しをもって取り組むには多くの支援を要する。</li> <li>・体力に個人差がある。</li> <li>・種目によって意欲や技能に個人差がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発見や疑問から目標や課題を設定し見通しをもって課題解決に臨ませることを繰り返し行っていく。【発見】</li> <li>・課題解決に向けて自身の能力や体の状態に合わせてどのように体を使うとよいか考えさせる。【決定】</li> <li>・自分の動き方を映像で確認させるなどして、分析し改善していく。【決定】</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和6年度 府中市立小柳小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章に対して、何に注目して読めばよいのか、どのように自分の考えをまとめればよいのか分からない児童がいる。</li> <li>語彙、漢字の読み書きの能力に個人差が大きい。</li> <li>読みの学習で、要点をつかむことや、情景を思い浮かべることが難しい児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初読の感想で出た発見や疑問を基に問いや学習計画を立て、見通しをもって学習に取り組めるようにする。【発見】</li> <li>語彙力を高めるために、辞書・図書資料などを多く取り入れた学習を行う。【表現】</li> <li>読みの学習では、精読をさせて理解を深めるとともに、課題に即した自分の思いや考えをもって対話させることで、読みを深めさせる。【対話】</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>問いや課題に対して自分の考えをもてないまま学習活動に臨んでいる児童がいる。</li> <li>乗法や除法の計算を正確に行うことを苦手とする児童がいる。</li> <li>図形の学習において、分度器などの用具の正しい使い方や、用具を用いた作図を苦手としている児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業初めに前時の振り返りを行い、その日の学習課題と既習学習とのつながりを意識させ、見通しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>復習プリントや宿題、eライブラリアドバンス等で繰り返し学習する機会を設け、定着を図る。【表現】</li> <li>授業中の個別指導を充実させるとともに、ペアやグループで教え合う活動を取り入れ、理解を深めさせる。【対話】</li> </ul>		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段の生活経験と関連させて考えることが苦手な児童が多い。</li> <li>まとめの言葉を自分で描くことが苦手な児童がいる。</li> <li>基礎的な知識の定着に個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学べるように児童の気付きから学習問題を作り出していく。【発見】</li> <li>学習問題を明確にした上で、見通しをもって観察・実験を行い、実感を伴った理解を図れるようにしていく。【発見】</li> <li>プリントやeライブラリアドバンスを活用し、それぞれに合った問題に取り組ませる。【決定】</li> </ul>		
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な知識の定着が十分でない。</li> <li>1単位時間ごとに学習したことを、つなげて自分の考えを深め、表現することが難しい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発見や疑問から学習問題や計画を設定するとともに、見通しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>基礎的な知識について繰り返し指導し、定着を図る。【表現】</li> <li>学習したことをもとに自分の考えを再構築させ、図や表や文章などでまとめさせたり、発表させたりする。【表現】</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然で無理のない発声や、楽器の基本的な奏法が定着していない児童がいる。</li> <li>自らの思いや意図を音楽表現に生かすことが十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が聴き取ったことや感じ取ったことをもとに表現を工夫したり、課題を設定したりするとともに、見通しをもって課題解決に臨ませる。【決定・発見】</li> <li>歌い方や楽器の奏法などの既習事項を様々な題材で活用し、くり返し指導しながら、基礎的な技能の定着を図る。【表現】</li> <li>友達のよいところを見付けたり、考えを交流したりしながら、表現に生かしていくことができるようにする。【対話】</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像力を働かせる単元で手が止まる</li> <li>手先の巧緻性が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発見や疑問から目標や課題を設定するとともに、見通しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>ほかの児童との対話【対話】</li> <li>作品鑑賞充実させ見方や考え方を広げる【発見】</li> <li>教員が手をかす（加える）【表現】</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動に意欲的ではあるが、自分の課題を意識して取り組めていない児童がいる。</li> <li>自分のイメージ通りに体を動かすことを苦手とする児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発見や疑問から目標や課題を設定し、見通しをもって課題解決学習に臨ませる。【発見】</li> <li>CBを活用し、自分や友達の動きを撮影させることで、視覚的に自分の課題に気付けるようにする。【発見】</li> <li>チームやグループでの活動を通して、見合える環境を作り、教え合いができるようにする。【対話】</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和6年度 府中市立小柳小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）  
第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字や言葉などの知識が不足している。</li> <li>課題意識をもって書いたり読んだりすることができる児童が少ない。</li> <li>構成や書き表し方に気を付けて文章を書くことができる児童が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の「言葉のたから箱」や言い換えなど、語彙力を高める学習を確実に行う。【表現】</li> <li>児童の発見や疑問から目標や課題を設定するとともに、見通しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目させると共に、対話を通して推敲し、対話的に書きを深めさせる。【対話】</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本が定着していない。</li> <li>問題を解決するための考えをもつことができない児童がいる。</li> <li>文章問題の読み取りの力が不十分な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発見や疑問からめあてを設定し、学習の見通しをもたせるようにする。【発見】</li> <li>授業中や家庭学習でeライブラリアドバンスを活用して基礎・基本の定着を図る。【表現】</li> <li>自己の考えを図や式にして表現し、考えを振り返り、まとめさせるようにする。【表現】</li> <li>文章のキーワードとなる部分にしるしを付けさせる。【表現】</li> </ul>		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活経験や今までの授業の知識にばらつきがある。</li> <li>思考、表現が得意な児童とそうでない児童の差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入の時間を丁寧にいき、既習事項の確認から今回の学習の内容の整理を行い見通しをもたせる。【発見】</li> <li>発表の形態などを工夫し、多くの児童が自主的に取り組める授業を目指す。【表現】</li> </ul>		
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な知識が定着していない。</li> <li>資料の読み取りが苦手な児童がいる。</li> <li>資料をもとに、まとめる力は個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発見や疑問から目標や課題を設定するとともに、見通しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>資料の見取り方（空間的、時間の経過、総合的）を提示して、様々な資料の読み取りができるようにする。【表現】</li> <li>学習したことをもとに、自分の考えを再構築し、文章、新聞、様々な形式でまとめる。【表現】</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然で無理のない、響きのある発声や楽器の基本的な奏法が定着していない児童がいる。</li> <li>楽曲にふさわしい表現を工夫したり、自らの思いや意図をよりよい音楽表現に生かしたりすることが十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が聴き取ったことや感じ取ったことをもとに表現を工夫したり、課題を設定したりするとともに、見通しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>スモールステップでの学習展開や、既習事項の活用などを繰り返しながら、音楽表現の基礎的な技能の定着を図る。【表現】</li> <li>友達の演奏のよいところを見つけたり、考えを交流したりしながら、表現に生かしていくことができるようにする。【対話】</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像力を働かせる単元で手が止まる</li> <li>手先の巧緻性が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発見や疑問から目標や課題を設定するとともに、見通しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>ほかの児童との対話【対話】</li> <li>作品鑑賞充実させ見方や考え方を広げる。【発見】</li> <li>教員が手をかす（加える）【表現】</li> </ul>		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の経験や他の技能と関連付けて主体的に活用する。</li> <li>自らの日常生活の中から課題を設定し友達と考えを交流しながら様々な解決方法を考える力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活について、児童の経験から感じたことを交流し自ら課題を見付け、見通しをもち実践につなげる。【発見】</li> <li>家庭生活を送る上で、必要なことについて主体的に自分の目標を設定し、知識技能を身に付ける。【表現】</li> <li>グループで役割分担をして自分の役割について見通しをもつ。【発見・対話】</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本の動きができず、技能が定着していない児童がいる。</li> <li>体の使い方や動かし方がぎこちない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の技能を理解し、目標や課題を設定して見通しをもって課題解決学習に臨ませる。【発見】</li> <li>体を動かす楽しさや友達と一緒に活動する楽しさを実感できるように活動を工夫し、基本的な動きや技能を身に付けさせる。【表現】</li> <li>ICTを使い、自分の動きを確認させる【決定】。</li> </ul>		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルファベットの書き取りができない。</li> <li>語彙の意味理解が不十分な児童がいる。</li> <li>リスニングができない児童がいる。</li> <li>英語への苦手意識がある児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し練習をすることで、アルファベットを楽しみながら使うことができるようにする。【表現】</li> <li>教員やALTが授業中使用している語彙を聞き、意味を想像させ、学習の見通しをもたせる。【発見】</li> <li>留学生やオンライン交流を経験させ、英語でのコミュニケーションを楽しむ場面を設ける。【表現】</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていない

で、2学期末、年度末に評価する。

# 令和6年度 府中市立小柳小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を書くことに対して、苦手意識をもった児童が多い。</li> <li>漢字や言葉の意味を理解するのが苦手な児童が多い。</li> <li>語彙の量が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の疑問から学習計画を立てるとともに、見通しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>同じ読み方の漢字を集め、文章から考えるようにし、意味を覚えられるようにする。【表現】</li> <li>辞書を使い、分からない言葉は予想をして、調べていく。【表現】</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考力や活用力を要する問題が苦手な児童が多い。</li> <li>基礎・基本が定着していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発見や疑問から目標や課題を設定するとともに、見通しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>既習事項の復習から、本時の学習に取り組めるようにする。【表現】</li> <li>九九計算など、復習を定期的に取り入れる。【表現】</li> </ul>		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活経験や今までの授業の知識にばらつきがある。</li> <li>授業内で思考、表現できることがテストなどになるとわからなくなってしまう児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入の時間を丁寧にいき、既習事項の確認から今回の学習の内容の整理を行い、見通しを持たせる。【発見】</li> <li>授業からテストまでのあいだに、学習内容を復習する時間を設け、単元全体で学習したことの整理を行う。【表現】</li> </ul>		
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>図や表の読み取りはできるが、自分の言葉で表現することが難しい。</li> <li>歴史上の人物に関心のある児童に偏りがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発見や疑問から目標や課題を設定するとともに、見通しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>基礎的な知識について、繰り返し指導し、定着を図る。【表現】</li> <li>学習したことをもとに自分の考えを再構築させ、文章、新聞形式などでまとめさせたり、発表させたりする。【表現】</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然で無理のない、響きのある発声や楽器の基本的な奏法が定着していない児童がいる。</li> <li>楽曲にふさわしい表現を工夫したり、自らの思いや意図をよりよい音楽表現に生かしたりすることが十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が聴き取ったことや感じ取ったことをもとに表現を工夫したり、課題を設定したりするとともに、見通しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>発問や板書を工夫しながら学習を進め、既習事項の活用などを繰り返しながら、音楽表現の基礎的な技能の定着を図る。【表現】</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像力を働かせる単元で手が止まる</li> <li>手先の巧緻性が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発見や疑問から目標や課題を設定するとともに、見通しをもって課題解決に臨ませる。【発見】</li> <li>ほかの児童との対話【対話】</li> <li>作品鑑賞充実させ見方や考え方を広げる【発見】</li> <li>教員が手をかす（加える）【表現】</li> </ul>		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>裁縫や調理など基本的な能力に個人差がある。</li> <li>自らの日常生活の中から課題を設定し友達と考えを交流しながら様々な解決方法を考える力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中で、児童の経験から感じたことを交流し自ら課題を見付け、見通しをもって臨ませる。【発見】</li> <li>家庭生活を送る上で、必要なことについて主体的に自分の目標を設定し、知識技能を身に付ける。【表現】</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>体を動かすことが苦手な児童がいる。</li> <li>体力が低下している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発見や疑問から目標や課題を設定し見通しをもって課題解決に臨ませることを繰り返し行っていく。【発見】</li> <li>個人やチームで競わせ、ゲーム性をもたせ、運動の楽しさを実感させる。【対話】</li> <li>休み時間をはじめ日常的な運動を促す。【決定】</li> <li>自分の技術に応じた課題を見付け、各種の運動に積極的に取り組めるように、活動の場の設定を工夫する。【発見・決定】</li> </ul>		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦手意識がある児童は授業に主体的に参加することが難しい。</li> <li>アルファベットを書けない。</li> <li>多文化に関心がない。</li> <li>話すことが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>留学生や海外とのオンライン交流を行い、多文化に触れること通し、様々なことを発見できる場面を設け、学習意欲につなげる。【発見】</li> <li>教員とALTの会話を繰り返し聞かせ、意味を想像させることで学習の見通しをもたせる。【発見】</li> <li>しっかりと準備を行ったうえで発表させる。【表現】</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和6年度 府中市立小柳小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 仲よし学級における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙が少なく、自分の考えや気持ちを表現することが難しい。</li> <li>・相手意識をもち、考えながら聞くことが難しい。</li> <li>・自分で文章を読んだり、話を聞いたりして理解する力が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の気付きから目標や課題を設定する場を設ける。【発見】</li> <li>・読書の時間を大切にし、感じたことを自由に表現する場を設ける。【表現】</li> <li>・分からない語句をタブレットや国語辞典で調べたり、物語等で登場人物の気持ちを表す言葉を考えたりして語彙を増やしていく。【表現】</li> <li>・教師が相手の考えを分かりやすく伝えるなどの支援を行う。【表現】</li> <li>・物語文や説明文を動作化したり、実際に経験したりすることを通して理解につなげる。【表現】</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算を実生活に生かすことが難しい。</li> <li>・具体物や体験を概念として抽象化することに困難さがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の気付きから目標や課題を設定する場を設ける。【発見】</li> <li>・個別学習プリントやeライブラリアドバンスを活用し、繰り返し計算に取り組む。【表現】</li> <li>・日常生活に即した場面を設定し、実生活に般化できるようにする。【表現】</li> <li>・具体物を操作する時間を設け、具体物→半具体物→抽象とスモールステップで概念を身に付けていけるようにする。【表現】</li> </ul>		
生活単元	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科で学んだことを実生活や実体験に般化することに課題がある。</li> <li>・他教科で学習したことを生かして考えたり、行動したりすることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の気付きから目標や課題を設定する場を設ける。【発見】</li> <li>・学習したことをお店屋さんのような体験的な活動にしたり、発表したりして日常生活につなげることができる場面を設定する。【表現】</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽や相手の音を感じて演奏しようとするのができる児童もいるが、合わせて演奏することが難しい児童もいる。</li> <li>・手先の不器用さや眼球運動の困難さから楽譜を見て音と対応させることが難しい場合もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の気付きから目標や課題を設定する場を設ける。【発見】</li> <li>・リズム遊び、友達の演奏を聴く時間などを通して楽しみながら音楽に注目するような活動を行う。【表現】</li> <li>・楽譜を指で追う、色分けした楽譜や楽器を使うなどの方法により自分で活動できるようにする。【表現】</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のイメージを広げて作品を作ることが難しい児童がいる。</li> <li>・表現したいことがあるが、道具の操作が難しい児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の気付きから目標や課題を設定する場を設ける。【発見】</li> <li>・手本や例を提示することで安心して楽しく作品作りに取り組めるようにするとともに、道具の正しい使い方を学べるようにする。【発見】</li> <li>・手本や手順を分かりやすく提示する。【発見】</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動に苦手意識があり、運動習慣がない児童が多い。</li> <li>・シンプルなルールの活動に積極的に取り組むことができる。</li> <li>・ボディイメージが十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の気付きから目標や課題を設定する場を設ける。【発見】</li> <li>・活動内容やルールを簡易化したものにし、苦手な児童や運動習慣のない児童でも参加しやすいものにする。【表現】</li> <li>・多様な動きを通して、体の動かし方（ボディイメージ）を高められるようにする。【表現】</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。